

2019年度事業計画書

自2019年4月1日 至2020年3月31日

特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的人権が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与する。

2 本年度重点項目

- ・患者家族滞在施設運営事業(①)
ボランティアの相互交流とスキルアップを目的とした交流会を複数回開催する。
- ・保育事業(③)
きょうだい児支援に関する研修会を開催し、支援の必要性の社会的周知を目指す。
- ・難病の子ども達の課題を解決して行く為の支援事業(④)
音楽を通じた支援活動・広報活動の強化を図る。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内 容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任を保ち、利用者の方が気持ちにゆとりを持って看病に専念して頂けるよう最適な環境を提供する。

運営期間： 通年

従事者： 約60名

対象者： 病児とその家族

場 所： 横浜市南区「リラのいえ」

②家族の交流の場の提供事業

ア コンサートホールで生の音楽が聴くことのできない子どものための音楽会の開催

内 容： 神奈川県内の特別支援学校の児童・生徒・卒業生を中心とした、障害のある子どもと家族を招待した音楽会を開催する。

開催予定： 8月10日～11日（3公演）

従事者： 約30名

対象者： 障害のある子どもとその家族

場 所： 横浜ラポールシアター

イ バザー開催

内 容： バザー開催による地域との交流・広報活動

開催予定： 10月20日

従事者： 約30名

対象者： 近隣地域の方・支援者・一般市民

場 所： 横浜市南区「リラのいえ」

③保育事業

ア リラのいえきょうだい児保育(横浜市の認可外保育施設として認証)

(公益財団法人小林製薬青い鳥財団助成事業)

内 容： 医療センターへ入通院する病児のきょうだい児を保育士が預かり、保育する。きょうだい児が安全で楽しい時間を過ごし、病児家族が安心して病院へ向かえるようにする。本年度は助成を受けて利用料を引き下げ、きょうだい児支援に関する研修会を開催する。また、医療センター内のきょうだい預かりグループとの連携を強化する。

運営期間： 通年

従事者： 約10名

対象者： 病児のきょうだいとその家族

場 所： 横浜市南区「リラのいえ」

イ 研修会等への保育士派遣

内 容： 他団体が主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等で実施される預かり保育に保育士を派遣する。

従事者： 約10名

対象者： 病児とその家族・一般市民

場 所： 神奈川県立こども医療センターほか

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援

内 容： 重症心身障がい児及び家族に対する支援事業として、本人家族が楽しめる機会を提供するために、コンサートの出張事業を行う。療養環境を充実させる事を目的とし、医療センター医師と協力し重症心身障がい児と音楽との関係の研究・調査を継続する。

開催予定： 年4回

従事者： 約5名

対象者： 重症心身障がい児とその家族

場 所： 神奈川県立こども医療センターほか

イ チャリティーコンサートの開催

内 容： 小児医療を取り巻く環境に必要な支援をアピールするためのコンサートを開催する。来場者に活動現場の様子をお伝えするため、動画や画像の投影、利用者ご家族の声の紹介等を企画する。

開催予定： 7月6日

従事者： 約30名

対象者： 一般市民

場 所： はまぎんホールヴィアマーレ

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

ア 組織基盤強化事業

(PanasonicNPOサポートファンド 助成事業)

内 容： 事業継続が認められ、2年目となる本年は、1年目に立案した組織内コミュニケーション施策を導入し、外部の支援者の助けがなくとも運用・改善できるようにする。理事会・事務局の体制を整え、外部団体との協働や情報発信を強化し、人材・財源確保へと繋げる。

従事者： 約80名

2019年度収支予算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ		
科 目	2019年度予算額		
I 収入の部			
1 会費収入	700,000		
2 寄付金収入	11,000,000		
3 助成金収入			
公益財団法人神奈川県心身障害児福祉基金財団助成金他	50,000		
横浜市市民活動推進ファンド	1,500,000		
かながわ県立病院小児医療基金事業助成金	3,000,000		
4 チャリティーコンサート収入	1,235,000		
5 バザーに関する事業収入	100,000		
6 滞在施設利用料収入	5,568,000		
7 保育事業収入	780,000		
8 協賛金収入	120,000		
9 雑収入			
研修・講義謝金	40,000		
物品販売手数料他	12,000		
10 受取利息収入	-		
11 前受金収入	-		
12 預り金収入	-		
当期収入合計 (A)	24,105,000		
前期繰越収支差額	423,372,598		
収入合計 (B)	447,477,598	447,477,598	
II 支出の部			
1 事業費			
① 関病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業			
給料手当	1,101,000		
福利厚生費	175,000		
交際費	10,000		
会議費	18,000		
通信交通費	1,920,000		
消耗品費	212,000		
修繕費	1,000,000		
水道光熱費	1,840,000		
印刷費	60,000		
リネン費	590,000		
保険料	23,000		
雑費	271,000		
建物修繕建築用特定資産繰入	4,500,000	11,720,000	
② 家族の交流の場の提供事業			
福利厚生費	70,000		
会議費	2,000		
通信交通費	113,000		
消耗品費	32,000		
印刷費	10,000		
諸謝金	50,000		
会場費	481,000	758,000	
③ 保育事業			
給料手当	3,000,000		
福利厚生費	30,000		
会議費	12,000		
通信交通費	510,000		
消耗品費	70,000		
印刷費	40,000		
新聞図書費	10,000		
支払手数料	5,000		
諸謝金	60,000		
会場費	20,000	3,757,000	

	④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業		
	福利厚生費	30,000	
	通信交通費	252,000	
	消耗品費	13,000	
	印刷費	50,000	
	支払手数料	2,000	
	諸謝金	540,000	
	会場費	320,000	1,207,000
	⑤その他の事業		
	福利厚生費	5,000	
	通信交通費	10,000	
	消耗品費	5,000	
	印刷費	50,000	
	諸謝金	970,000	1,040,000
2	管理費		
	給与手当	2,160,000	
	法定福利費	20,000	
	福利厚生費	20,000	
	広告宣伝費	30,000	
	交際費	60,000	
	会議費	20,000	
	通信交通費	824,000	
	ホームページ管理費	300,000	
	消耗品費	150,000	
	印刷費	270,000	
	諸会費	10,000	
	支払手数料	140,000	
	保険料	220,000	
	支払報酬料	730,000	
	諸謝金	60,000	
	租税公課	420,000	5,434,000
	当期支出合計 (C)		23,916,000
	当期収支差額 (A) - (C)		189,000
	次年度繰越収支差額 (B) - (C)		423,561,598

1.勘定科目の変更に関する注記

1.勘定科目の変更

従来、研修会講師謝金、ピアニスト手配・ギャランティ、演奏料、チラシデザイン料、コンサルタント経費、動画作成料、会報編集料は「支払手数料」に計上しておりましたが、謝金として支払った金額を明確にするため、当事業年度より「諸謝金」に計上する方法に変更しております。この変更により、従来と同一の方法によった場合と比べ、「諸謝金」は1,680千円増加し、「支払手数料」は同額減少しております。